判田中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年12月13日(金)

柳井 実奈さん
【社会福祉法人 萌葱の郷】

演題　福祉のお仕事ってどんなこと ～楽しいこと、大変なこと

児童の発達支援の指導員をしている柳井さん。仕事のタイムスケジュールや、子供たちのタイムスケジュール、子供たちと一緒にする“色水遊び”や“秋さがし”など、子どもたちと遊びながらサポートをする活動内容を紹介しました。子どもを呼ぶ着席活動のための「コロコロボール野菜編」を動画で見てもらいました。着席活動に加え、色を覚えたり、色から連想するものを考える訓練にもなります。
楽しいこと、大切にしていることは「日々発見、子供たちの笑顔、支援方法に正解がないこと、自分も楽しむことです」と話しました。「自分が元気じゃないと、よい支援ができない」という自分自身の体験から、生徒の皆さんに「自分自身を大切に」とメッセージを送りました。

後庵 盛寿さん
【㈱三井E&S】

演題　将来に向けてできること

港湾クレーンの電装設計をしている後庵さん。自己紹介の後、クイズを出しながら海上物流や海上輸送、貿易などについて話し、「世界の人々の豊かな生活は、貿易によって支えられています」と話しました。会社の職種にはお客様に価値を提供するための多種多様な役割の部署があることを説明。生徒たちに「お客さんが求めている商品・サービスは何だろう？」と考えてもらいました。
「会社はコンテナを運ぶクレーンを作っていますが、自動化クレーンと環境対応型クレーン（世界初の水素で動く）のふたつに力を入れています」と説明したほか、数週間後にベトナムやマレーシアへ、クレーンの輸出のため出張に行く予定であることを話しました。
生徒の皆さんに「この仕事はコミュニケーション能力や英語が出来た方がいいです。勉強することで選択肢が広がります。目指すものや現実の問題のために勉強をする。将来のことを頭の隅に考えている方がいいです」と伝えました。

玉垣 マリモさん
【一般社団法人 若葉会】

演題　人生を楽しむということ

言語聴覚士の玉垣さん。言語聴覚士がどういった機能回復訓練を行うのかなどを説明しました。生徒たちに「食べれなくなるとどうなるか？」を考えてもらい、答えてもらいました。ちゃんと食べれているのか、３０秒間に何回唾液を飲み込むことが出来るかの実演をしました。「野菜、果物をたくさん思い出して言ってみよう」では３０秒間に何個言うことが出来るのか、話せるようになるための訓練をグループワークで行いました。
生徒の皆さんに「これから進路を選択していく中で、何が好きか、何が嫌いかなど、自分を分析し、自分を知ることが大切です。仕事の種類や内容を調べ、いろんな人に聞いてみましょう」、「夢を叶えるのに必要なことは、知識とやる気です」と伝えました。

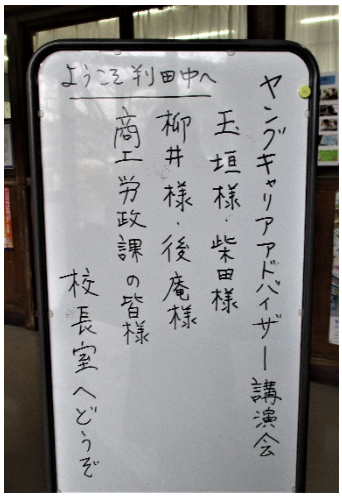
判田中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年12月13日(金)

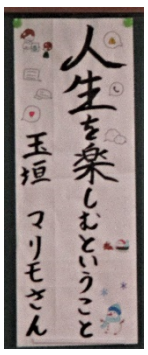
柴田 泰地さん
【社会福祉法人 龍和会
特別養護老人ホーム 寿志の里】

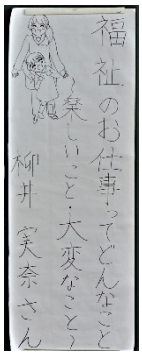
演題　高齢者施設について知っていますか？

高齢者施設で介護福祉士をしている柴田さん。介護福祉士資格取得の話をしました。「グループホームとは、認知症であっても自分で出来ることは自分で行ってもらう。出来ない所を職員が支えながら団体生活を送る場所」と説明しました。「介護福祉士の主な仕事は食事介助、入浴、排泄です」と話し、グループホームの一日や入居者の様子、レクリエーション、季節の行事などを写真で紹介しました。また、食事のとろみ剤の使用量についても詳しく説明しました。
生徒の皆さんに「素直に挨拶をする。素直に『ごめんなさい』や『ありがとうございます』を言える、素直な心が大切です」、「中学のときは勉強が大嫌いでしたが、社会に出てみると中学のときに勉強すればよかったと思います。中学時代は戻ってきません。まず自分の好きな科目から勉強をする。中学生の時間を大事にして嫌いなこともしてみてください。」、「人との繋がりを大切にたくさん会話してください。どんな職業でも人とのコミュニケーションが大事です。覚えておいてください」と伝えました。



控室にクラスの代表が
アドバイザーをお迎えに来て
クラスまで案内します





手書きの演題

１年生４クラス。素朴で素直な生徒たちでした。演題は個性あるイラストが描かれていました。